

令和3年度 自己評価結果公表シート

学校法人寺西学園 東香里丘幼稚園

1. 園の教育目標

「つよく・ただしく・ほがらかに」

変化や創意に富んだ保育内容で、園児の心と身体をバランスよく、のびのびと育てる。

1. 健康な心と身体を育て、自らの生きる力を養う。
2. 多くの人と親しみ、支えあうための自立心を育む。
3. 自然・環境や社会のできごとなど、身近なことに積極的にふれあう力を育てる。
4. 自ら思っていることを積極的に表現し、相手のメッセージや言葉を聞く態度を養う。
5. 豊かな感性を育て、感じたこと考えたことを素直に表現する意欲を養い、創造性を豊かにする。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

1. 新型コロナウイルス感染拡大防止と新たな保育の取り組み
 - ・新型コロナウイルスについては教職員が冷静に適切な対応ができるよう常に意識しておく必要がある。
 - ・その上で子どもたちがのびのびと遊び・学べるよう、新たな手法での保育に取り組んでいく。
2. 保育の質の向上への取り組み
 - ・アフターコロナを見据えた、より質の高い保育を目指す。
 - ・教員・職員が連携をとりながら、保育内容の底上げができるよう協力していく。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取組状況
新型コロナウイルス感染拡大防止と新たな保育の取り組み	<ul style="list-style-type: none">・全国的な新型コロナウイルス感染拡大の影響で、幼稚園でも園児・職員に陽性者が多数発生したが、一斉送信メール等で適宜適切な情報発信を行い、保護者の理解も得ながら休園や臨時降園の措置を取り、また通園する際にも安心して通えるよう対策を講じた。・これまでも常日頃から園児に指導してきた「早寝・早起き・朝ごはん」「手洗い・うがい」等の基本となる取り組みを継続してしっかりと行っていくよう努めた。・運動会や生活発表会などの行事ではプログラムを一から見直し、感染対策を取りつつ新たな手法を用いて子どもたちの意欲が駆り立てられるよう内容に工夫して開催することができた。
保育の質の向上への取り組み	<ul style="list-style-type: none">・教職員間で常に意思疎通が図られるよう「報告・連絡・相談」の徹底に努めた。・行事では教員同士で意見を出し合い、前例にとらわれずに新たな発想で、子どもたちが楽しめる発表へと繋がるよう取り組んだ。・研修等で学んだことを積極的に実際の保育においても実践した。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結 果	理 由
B	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナの感染状況は令和3年度も収束することなく、幼稚園としても様々な対策や対応が続く一年となったが、昨年度から引き続き、幼稚園からのお手紙や一斉送信メールで適宜適切な情報提供を行うなど、保護者が不安なく子どもを幼稚園に通園させることができる環境作りを最優先事項として取り組んだ。 ・教職員は少しずつ新型コロナ対策に慣れてきた面もあり、引き続き、しっかりと消毒作業を行うなど安全面にも配慮しながら、普段の保育や行事での発表などはこれまでの前例にとらわれずに新たな手法や表現方法に挑戦することができた。 ・その結果、運動会や生活発表会等の行事では保護者の皆さんにも大変喜んでいただくことができ、アフターコロナにおける保育のヒントを得ることができた。 ・コロナ禍であるからこそ、再度、一人ひとりの子どもたちにしっかりと向き合う保育を行い、心と身体のバランス良い成長に繋がるよう取り組んだ。

- ※【達成度】の表示方法
- A：充分達成されている
 - B：達成されている
 - C：取り組まれているが、成果が充分でない
 - D：取り組みが不十分である

5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
新型コロナウイルス感染拡大防止と新たな保育の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大については、令和4年度もなかなか収束の見通しが立たない状況が続くことが予想される。保育現場においては、まずは園児の安全を最優先に感染対策を取りながら少しずつ通常の保育に戻す努力を行っていく。 ・幼稚園・保護者・地域が連携して、園児が安全に安心して通園できる環境作りに取り組む。
子育て支援の更なる充実	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者が求めている保育ニーズを的確に捉え、教職員全員が同じ意識・方向性の下でそれらに伝えていけるよう努める。 社会状況に応じた新たな子育て支援の充実のための方策を検討する。

6. 学校関係者評価委員会の意見

令和3年度自己評価結果に基づき、委員からは概ね良好な運営をされているとの評価をいただいた。引き続き、新型コロナへの対応に追われる一年となったが、行事内容の変更・見直しを行いながら、限られた時間でより楽しめるよう工夫されていることが伝わってきて、一緒に前向きに頑張ろうという気持ちになることができた。

今後も大変なことが多いと思われるが、子どもたちがバランス良く成長できるよう、引き続き、子ども目線での保育の実践に頑張っていたいただきたいとのご意見を頂戴した。

【公開保育について】

英語を取り入れた公開保育では、驚くほどに子どもたちが楽しんでいる様子を伺うことができた。子どもたちの無限の可能性を感じると共に異文化に触れながら様々なことに興味を持てるよう、きっかけ作りにも取り組んでいただきたいとのご意見を頂戴した。